

野沢温泉外湯めぐり(野沢温泉村)

野沢温泉村は、その名の通り村内に温泉がたくさん湧き出る村です。村には30余りの源泉、13の外湯と呼ばれる共同浴場があり、どなたでも温泉に入ることができます。



ここにいい湯、
からだにいい湯



上:「大湯」の浴場 下:「大湯」外観

源泉は、弱アルカリ性。100%の天然温泉です。それぞれの温泉では匂いや色、効能など若干の違いがあり、飽きることなく温泉めぐりができます。また、高温の源泉のままお湯をひいているので、初めて訪れる人には熱く感じるかもしれません。一部の外湯には「あつ湯」と「ぬる湯」があり、どちらも楽しむことができます。

大湯には薬師三尊を、その他の湯には十二神将を奉り、野沢温泉の「湯まもり仏」としています。外湯利用の際は、賽銭箱にお気持ちを。※外湯は年中無休、夜間11:00～6:00(夏季は5:00)までは施設

野沢温泉の歴史は古く、戦国時代からあったと言われています。一般の庶民が湯治場として野沢温泉を訪れるようになったのは、江戸時代からです。それから今日まで、ここのお湯は地域の共有財産として村民に大切に守られています。

街の造りがコンパクトな野沢温泉村は、スキー場と温泉が近く、スキーを楽しんだ後は徒歩移動して温泉に入ることができます。また、村内には個性的なカフェがあり、温泉とともにカフェめぐりもおすすめです。温泉、キャンプ、スキー、野沢菜漬けこみ体験…等々、四季を通して楽しめます。

野沢温泉村は信州の名産「野沢菜漬け」の原料「野沢菜」発祥の地でもあります

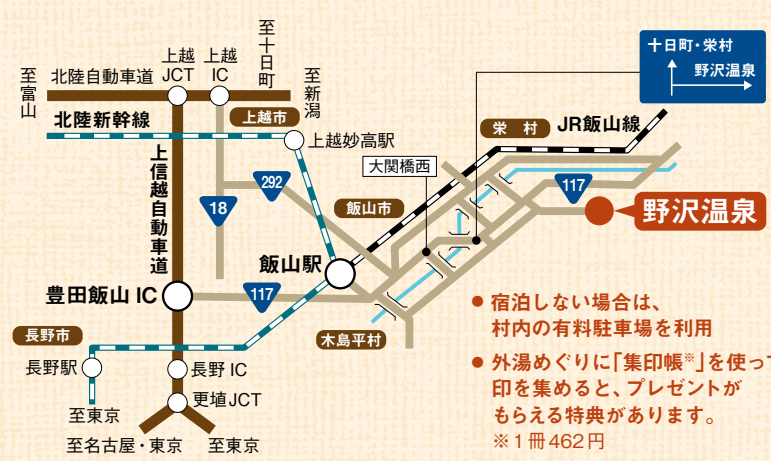
野沢菜のルーツは、大阪「天王寺かぶ」の種をお坊さんが村に持ち帰ったことが始まりとされています。温暖な関西と違う環境で育った天王寺かぶが、野沢温泉の気候風土によって変化し、野沢菜になりました。村内で作る野沢菜漬けは、野沢菜を温泉で洗っていることが特徴です。



野沢温泉名物「温泉たまご」
※村内5カ所に野沢温泉の源泉を使って温泉たまごが作れる釜があります

MAP&アクセス

【車】 上信越自動車道豊田飯山ICから約25分
【電車】 飯山駅からバスまたはタクシーに乗り換え約25分



- 宿泊しない場合は、村内の有料駐車場を利用
- 外湯めぐりに「集印帳*」を使って、印を集めると、プレゼントがもらえる特典があります。
※1冊462円



お問い合わせ

野沢温泉観光協会

下高井郡野沢温泉村大字豊郷9780-4
TEL: 0269-85-3155
URL: <http://nozawakanko.jp>